

(様式 2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 丹波健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	丹波圏域の野菜摂取量は250.2g/日(H28)であり、全国および県平均より少ない。また、野菜摂取量の認識と実態の乖離が見受けられる。 健康寿命の延伸に向け、働き盛り世代の食生活を改善するため、野菜や塩分摂取などを切り口に個人が食生活を見直すアプローチと、その周りを取りまく事業所や食品販売店、一般給食センター等の健康意識を高める必要がある。
今年度の推進方策	働き盛り世代が利用する食品販売店において、丹波圏域の野菜摂取不足、塩分摂取量過多等について情報発信し、目指したい1食分の野菜量等を体験することで、働き盛り世代の食の選択能力を培い、個人の健康意識を高める。
成果	【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業所での事業実施が不可能となり、食品販売店において事業実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症オミクロン株の感染拡大のため、実施不可能となった。】
今後の方向性	自然と健康になれる食環境の整備（既存事業を活用した丹波圏域の野菜摂取不足に関する周知・働きかけの継続、減塩にむけた取組みの推進）

2 会議の開催状況

実施日時	
参集者 (団体数及び人数)	
協議内容	
今後の方策	

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

テーマ			
対象及び参加者数			
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
成果			
今後の課題			

※プログラムや内容が分かる資料を抜粋し添付すること。